

大学入試に挑んでいる人達への新春メッセージ（第5報）

（1）人生の途中経過自己選択の意義ある機会としたい

新年を迎えました。皆さんにはどのような抱負でもってこの新たな一年を始められたでしょうか？「スカッと爽やか」ならばよいのですが、入学試験の時期を前にいやがうえにも緊張感が増大し、精神的に辛い毎日となっている人達も多くいることでしょう。でも、今経験しつつある「精神的に厳しい試練」は、一刻も早く逃れたい苦難として受動的・一面的にのみとらえるべき出来事ではなく、皆さんがこれをきっかけに、これまでの自分の生き方を振り返り、今後さらに「社会的又は関係的存在としての自分」を一層前向きに成長させていくための進路選択課題への挑戦の機会として、積極的にとらえるべき出来事でもあるのです。

1月16日、17日の両日、今年度のセンター試験が実施されました。国・公立大学を志望している受験生には必須の関門ですが、私立大学志望の場合、受験生の自主的判断によるところが大きくなっています。つまり、センター試験を必要とするか、しないかの選択肢のどちらを選ぶかは、皆さんの自主的判断に委ねられているのです。さらに言いますと、大学進学をするか否かから始めて、センター試験を必要とする大学・学部へ進むのか、推薦制度のある大学・学部か、授業料の減免制度や特待制度のある大学・学部か等々、そして、歴史的に見て、どんな経過を辿って来ている大学・学部か、現在の教育・研究を担っている主な人々はどんな人々か、までも可能な範囲で調べ、「自分の将来にとって、この大学・学部が良さそうだ」と自分の将来計画との関係において絞り込んだうえで、皆さんは現在志望大学・学部の入試に挑もうとしている訳です。

（2）充実感のある輝く人生(生涯)を目指して学ぶ

ところで、この機会に、中学・高校で学習したことを想起してみてください。我が国の憲法では、第13条で、「すべて国民は、個人として尊重される。生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利については、公共の福祉に反しない限り、立法その他の国政の上で、最大の尊重を必要とする。」と規定しています。国民の基本的権利について大原則を明らかにしたものとよく知られています。とは言え、当然のことながら、「この憲法が国民に保障する自由及び権利は、国民の不断の努力によって、これを保持しなければならない。又、国民はこれを濫用してはならないのであって、常に公共の福祉のためにこれを利用する責任を負ふ。」（第12条）と、国民の不断の努力と権利の濫用の禁止を求めています。

因みに、昨年、公職選挙法の一部改正により、公職選挙（具体的には衆議院議員及び参議院議員の選挙）の投票権の年齢下限が満20年以上から満18年以上に改められました（第9条第1項）。遅きに過ぎたという一部の批判も見られますが、より重要なことは、この投

票権を行使するに相応しい政治的教養をしっかりと鍛えていくことが大学教育をも含めて、学校教育の課題となっているということでもあります。ついでに教育基本法の第14条の規定は、どんな内容であるかを確認してみてください。

大学入試準備を、「うまく進めることができた」と思う人も、「まだ十分ではない」とやや不安な人も、それぞれに大学入学後の「新たな学び」へ向けた決意を今強く自覚して下さい。その自覚の強さと自覚に伴う学びの継続的努力こそが、数年後に大学（短大を含む）を卒業する際の皆さんの「学士力」の程度や明暗を分けることとなります。我々は、使命感をもって皆さんの学びをサポートしていく所存であります。

最後に、皆さんの御健康と御多幸を、また、貴校の一層の御発展を心から祈念いたします。

御参考までに、今後の本学の一般入試等の日程は次のようになっております。ご活用していただければ幸いです。

		出願期間	試験日
一般入試 前期	A 日程	2016年1月4日(月)～1月22日(金)	2016年2月2日(火)
	B 日程		2016年2月3日(水)
	C 日程	2016年1月28日(木)～2月16日(火)	2016年2月22日(月)
一般入試 後期		2016年2月22日(月)～3月5日(土)	2016年3月14日(月)
大学入試 センター試験 利用入試	I 期	2016年1月4日(月)～1月27日(水)	本学独自の試験は 課しません。
	II 期	2016年1月28日(木)～2月16日(火)	
	III 期	2016年2月22日(月)～3月5日(土)	

お問い合わせやご相談は、下記までお願い致します。

〒615-0882 京都市右京区西京極葛野町 38

京都光華女子大学入試広報部 TEL 075-312-1899 E-mail: jk2@mail.koka.ac.jp

平成 28 年 1 月 18 日

京都光華女子大学学長 一郷正道

副学長・こども教育学部長 若井彌一

こども教育学科長 北岡宏章